



新着案内



NO. 3
2022年10月
伊丹西高校図書館



『その本は』(又吉 直樹・ヨシタケ シンスケ)
本の好きな王様が、2人の男を城に呼び、「世界中をまわって「めずらしい本」の話を聞いてきてくれ」と言った。旅に出た2人の男はたくさんの本の話を持ち帰り、王様のために夜ごと語り出した。又吉直樹とヨシタケシンスケによる、笑えて泣けて胸を打たれる、本にまつわる物語。

『#真相をお話します』(結城 真一郎)

ミステリ界の超新星が仕掛ける、五つの罠。日常に潜む小さな「歪み」を、あなたは見抜くことができるか。子供が四人しかいない島で、僕らは「YouTuber」になることにしたが、ある事件を境に島のひとたちがよそよそしくなっていく。「#拡散希望」。日本の(いま)とミステリが禁断の融合。緻密で大胆な構成と容赦ない「どんでん返し」。



日本推理作家協会賞受賞作を含む五篇の短編集。

『宙ごはん』(町田 そのこ)



宙には、育ててくれている『ママ』と産んでくれた『お母さん』がいる。厳しいときもあるけれど愛情いっぱい接してくれるママ・風海と、イラストレーターとして活躍し、大人らしくなさが魅力的なお母さん・花野だ。ふたりの母親に育てられた宙は、産みの母親と暮らすことになる。全国の書店員さん大絶賛！どこまでも温かく、やさしい希望の物語。

『競争の番人』(新川 帆立)

公正取引委員会の審査官、白熊楓は、聴取対象者が自殺した責任を問われ、部署異動に。東大首席・ハーバード大留学帰りのエリート審査官・小勝負勉と同じチームで働くことになった。二人は反発しあいながらも、ウェディング業界の価格カルテル調査に乗り出す。数々の妨害を越えて、市場を支配する巨悪を打ち倒せるか。ノンストップ・エンターテインメント・ミステリー！



『怪盗フラマールの巡回』(西尾 維新)



亡き父親の正体は大怪盗だった！長男の「ぼく」は、傷ついた弟妹と愛する乳母のため二代目怪盗フラマールを襲名。持ち主にお宝を戻す“返却活動”を開始する。次なる標的は、天才研究者が集う海底大学。初代怪盗フラマールを唯一捕らえたベテラン刑事と、新世代の名探偵が立ちあがる。衝撃の怪盗ミステリー、ここに開幕！

『腹を割ったら血が出るだけさ』(住野 よる)

高校生の茜寧は、友達や恋人に囲まれ充実した日々を送っている。しかしそれは、「愛されたい」という感情に縛られ、偽りの自分を演じ続けるという苦しい毎日だった。いくつもの人生が交差して響き合う、極上の青春群像劇。



『新！店長がバカすぎて』(早見 和真)

山本猛元店長が、3年ぶりに吉祥寺本店に店長として復帰した。張り切る店長だが、相変わらず、人を苛立たせる天才だ。それでも京子は、新人作家の才能に出逢い、打ちのめされ、好きな作家の新作に心躍らせ、時には泣き、笑い、怒り、日々戦う。小説と書店の未来を、仕事の意味を、生きる希望を改めて深く問い直す、第二弾。



『本を守ろうとする猫の話』(夏川 草介)

高校生の林太郎は、祖父を突然亡くした。祖父が営んでいた古書店をたたみ、叔母に引き取られることになった林太郎の前に、人間の言葉を話すトラネコが現れる。トラネコは本を守るために林太郎の力を借りたいという。感涙の大ベストセラー『神様のカルテ』著者が贈る、21世紀版『銀河鉄道の夜』。



『マイクロスパイ・アンサンブル』(伊坂 幸太郎)



どこかの誰かが、幸せでありますように。失恋したばかりの社会人と、元いじめられっこのスパイ。知らないうちに誰かを助けていたり、誰かに助けられたり。でも、今、見えていることだけが世界の全てじゃない。優しさと驚きに満ちたエンターテインメント小説！

『嘘つきジェンガ』(辻村 深月)

見栄、不安、ほんの出来心から積み上げてしまった嘘。一線を越えたら、もう戻れない。騙す側、騙される側、それぞれの心理を巧みに描く小説集。詐欺をめぐる3つの物語。



『かわいそ笑』(梨)

インターネット上に、何故か特定の「あの子」が被害にあう奇妙な怪談が出回っていた。著者が収集した情報をもとにネット怪談を読み解く、読者参加型のホラーモキュメンタリー。

『生命の略奪者(天久鷹央の事件カルテ)』(知念 実希人)

移植のための心臓を運んでいたコーディネーターが襲撃され、臓器が奪われた。同様の事件が天医会総合病院でも発生。心臓、肺、肝臓、腎臓。いったい誰が、何の目的で？天久鷹央は真相解明に乗り出す。本格医療ミステリー。



『SPY×FAMILY家族の肖像』(遠藤 達哉)

休日に出かけたフォージャー一家は、ひょんなことから超有名画家のモデルになることに。ヨルは暗殺の任務への支障を恐れ、自分の顔が世間に広まるのを阻止しようとする。コミックのスパインオフ小説。



『小説すずめの戸締まり』(新海 誠)

九州の静かな港町で叔母と暮らす17歳の少女、鈴芽は、ある日、「扉を探してるんだ」という美しい青年と出会う。過去と現在と未来を繋ぐ“戸締まり”の物語。2022年公開映画の監督新海誠が自ら執筆した原作小説。



『薬屋のひとりごと 12』(日向 夏)

玉鶯の暗殺で領主代行を失った西都の政務を、いやいやながら壬氏が執ることになった。そんなある日、壬氏は、領主代行だった玉鶯の息子たちを、西都のために後継者として政治を教え、育成するよう頼まれる。シリーズ累計 1800 万部突破！彼女の「正体」を知ると9巻から読み返したくなる。



『弱虫ペダル 79』(渡辺 航) 『ちはやふる 49』(末次 由紀)
『丸の内就職したら、幽霊物件担当でした。12』(竹村 優希)
『ケーキ王子の名推理 6』(七月 隆文)

※ 皆さんからのリクエストを受け付けています！

新着案内



NO. 3
2022年 10月
伊丹西高校図書館

～社会科学～

『**図解PREMIUM**眠れなくなるほど面白いヤバい心理学』(神岡 真司)
「ヤバすぎる」心理ツールだけを厳選して解説し、35万部の大ヒットとなった『ヤバい心理学』が、オール図解化で“進化”して登場！数多ある心理学のツールの中から、「これだけは絶対に知っておきたい」という重要度 A 級の「ヤバい」コンテンツだけを、図解でわかりやすく、また内容もパワーアップして、こっそりあなただけにお届けします。

『**目の見えない人は世界をどう見ているのか**』(伊藤 亜紗)

視覚障害者の空間認識、感覚の使い方、体の使い方、コミュニケーションの仕方、生きるための戦略としてのユーモアなどを目の見えない人や耳の聴こえない人に数多くのインタビューを行ってきた著者が分析。視覚障害者を通して、彼らがどのように世界を認識しているのかに迫る。



『**炎上CMでよみとくジェンダー論**』(瀬地山 角)
炎上する広告には必ず理由があり、近年その多くがジェンダーへの無理解を背景としている。炎上の構造を4つの象限で捉え直し、批判を受けたCMについて考察する。



～自然科学～

『**運動脳 BRAIN**』(アンデシュ・ハンセン著/御船 由美子訳)
脳は頭を働かせようとするより、身体を動かすことでこそ威力を発揮する器官。「歩く・走る」で、学力、集中力、記憶力、意欲、創造性、すべてがアップする。運動が脳におよぼす絶大な効果を紹介し、その理由を解説する。



『**数学者図鑑**』(本丸 諒)
ピタゴラスは新興宗教の人気教主だった！アルキメデスは数学でローマ軍を蹴散らした！デカルトは天井のハエを見て座標軸を思いついた！数学者の偉人たちの業績を驚きのエピソードとともにカラーイラストで紹介する。



『**「ネコひねり問題」を超一流の科学者たちが全力で考えてみた「ネコの空中立ち直り反射」という驚くべき謎に迫る**』(グレゴリー・J・グバー著/水谷 淳訳)
猫はなぜ高いところから落ちて足から着地できるのか？数多くの天才が、物理、光学、数学、神経科学などのアプローチからその驚くべき謎に迫った。猫を偏愛する物理学者が、学者たちの真摯かつ愉快的研究エピソードを紹介。



～哲学～

『**かくれ織細さんの「やりたいこと」の見つけ方**』(時田 ひさ子)
感受性が強く傷つきやすい人として近年注目されている「HSP(ハイリー・センシティブ・パーソン)」。大胆なのに繊細。活発なのに傷つきやすい。内向性を持ちながら外交的で疲れやすいという二面性を持ち合わせており、生きづらさを感じているのです。そんな人でも、本当にやりたいことを見つけ、やりたいことに没頭できるようになる1冊。



『**「推し」の科学 プロジェクション・サイエンスとは何か**』(久保 南海子)

「いま、そこにはない」ものに思いを馳せること、それを他者と共有できることは人間ならではの「知性」である。「推し」をめぐるさまざまな行動を端緒として、「プロジェクション」というところの働きを紐解く。



『**限りある時間の使い方**』(オリバー・バークマン著/高橋 璃子訳)
人生は「4000週間」。この限られた時間をどう過ごすか？いわゆるタイムマネジメント術ではなく、もっと重要で充実した時間の過ごし方を提案する。



～その他～

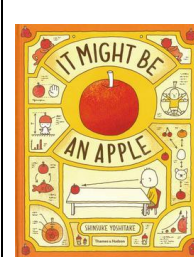
『**ウチらメンタル衛生きちんと守ってかないと普通に土還りそう**』(kemio)
普通にそもそもみんな苦手な人とかいるし、全員に好かれながら生きるとか無理だね？モデルや発信者、歌手として多岐にわたって活躍しているクリエイターkemioが、自身の生き方を綴ったエッセイ。

『**センス・オブ・ワンダー**』(レイチェル・カーソン著/上遠 恵子訳)
雨のそば降る森、嵐の去ったあとの海辺、晴れた夜の岬。そこは鳥や虫や植物が歓喜の声をあげ、生命なきものさえ生を祝福し、子どもたちへの大切な贈り物を用意して待っている場所。未知なる神秘に目をみはる感性を取り戻し、発見の喜びに浸ろう。環境保護に先鞭をつけた女性生物学者が遺した世界的ベストセラー。川内倫子の美しい写真と新たに寄稿された豪華な解説エッセイとともに贈る。



～キミも英語多読に挑戦しよう！～

★多読とは？
やさしすぎるくらいの本から始めて、読む楽しさを味わいながら、とにかくたくさん本を読むことで、英文が読めるようになります。ゆっくりでもいいので、すこしずつ始めていきましょう。



『**It Might Be an Apple**』(Shinsuke Yoshitake)
ヨシタケシンスケの大人気絵本『りんごかもしれない』の英語版、“It Might Be an Apple”。海外でも人気の英訳された日本の絵本を、英語版で楽しんでみよう！日本語版もあります。



『**Kokoro**』(Natsume Sōseki)
The first new translation in more than fifty years, *Kokoro* - meaning "heart" is the story of a subtle and poignant friendship between two unnamed characters, a young man and an enigmatic elder whom he calls "Sensei."
『こころ』を英語で読んでみよう。